

# 靈園の中の御成道？

矢島勝昭

護国寺と雑司ヶ谷靈園とを分けていたのが都道435号線で池袋駅へは登り坂になり、坂の登り口には豊島区の史跡説明板も見える。この道はむかし谷道で小坂と云ったが、1717(享保2年)現在の雑司ヶ谷靈園の西寄りに幕府の御鷹部屋ができたためここに新道が通された。そのむかし護国寺裏門辺の畠田に「星跡の清水」または「星谷の井」という井があり旱魃のときにも水が涸れず、雑司が谷の名水と云われていたが、後年六右衛門という村民の馬が井に落ちて死んだため井も埋まり放置されたという。

新道と御鷹部屋との間(靈園の東部を含む)は野菜畠で、そこはまた野鳥を捕る将軍の鷹場でもあった。そのため獲物を追いつめた狩りの一行が、お構いなしに野菜畠へ踏み込んで荒し回り百姓たちを困らせた。このことについて次のような逸話が残されている。

『御成道と云うのは御鷹部屋東の畠中を突っ切る南北に真っ直ぐの道のことである。八代將軍吉宗公が鷹狩りのときに、馬に乗って突っ走った所である。故に畠は角が切られたり三角等いろいろある。日頃家来たちには、大根を折るな、作物にはさわると云つていながら、大根の多くを馬で蹴散らしてしまった。

將軍は百姓を呼んで「折れた大根が何本あるか数えよ」と云い、家来には「一本一文、百本あれば百文取らせよ」と命じた。

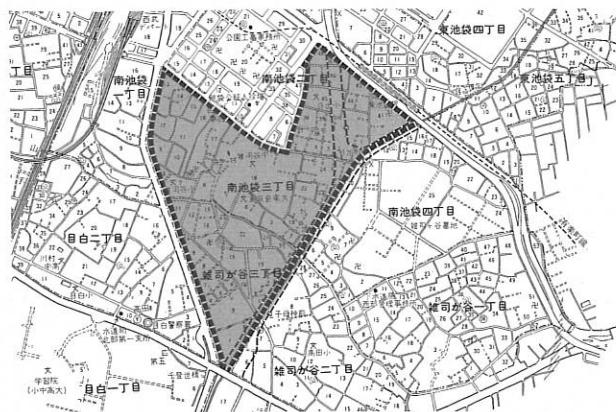
鷹狩りは誠に領内農作物の豊凶を視察して、農民を救う手段でもあったのだ。遊獵にことよせて、江戸近辺の作柄を知り、全国の状況をおもんばかりするためである。さすが名将軍である。この畠の大根の出来も売り物にはならないなど、わざと畠中を一文字に馬を乗り荒らし、大根もその外も夥しく踏折り蹴折り、一本一文づつ下されば、凶作の農家に富を与える鷹狩りとなる。將軍がお出になることを御成と云うは、願いが成就すると云うことか、誰もが願いを申し出ずとも恵みを戴けることであるから御成と仰ぎ尊ぶ言葉を使うのである。その有り難さに百姓はこぞって御成道の跡を現在に残し、田畠の減少を厭わないのだ。』(金子直徳 1750~1824「若葉抄」)

この話は御鷹部屋へ通うための新道築造が下絵となっているようにも思えるが、そこが谷筋だったことを考えると、当時畠地だった雑司ヶ谷靈園を含む地域での話とした方が筋が通る。

江戸庶民も名将礼賛の話がすきだったようだ。

## 新しいまちづくり

### 南池袋防災生活圏促進事業開始



雑司が谷地区では防災都市づくりの重点地区に位置づけられてから、いろいろな新しい動きが始まっています。昨年からはじまった環5の1沿道のまちづくりに引き続いて、南池袋地区では防災生活圏促進事業が開始されます。

この事業は、道路、公園や緑、街並みなどを整備しながら、安全で住みよい環境づくりを行い、逃げないすむまちづくりを進める事業です。今年度から地区の皆さんを中心に、検討を行い、計画づくりをして、事業を行っていきます。

## まちづくりニュース 50 1999・5

### ●企画・発行

雑司が谷地区まちづくり協議会  
財団法人 豊島区街づくり公社  
☎ 3981-1111(内)2883/房野・北島・上野  
豊島区都市整備部まちづくり推進課  
☎ 3981-1111(内)2862/鈴木・那須・西口

### ●編集協力

株式会社 エコライン  
☎ 5706-6031/小野  
豊島区広報印刷物 H20-11-053

ぞ  
う  
し  
が  
や

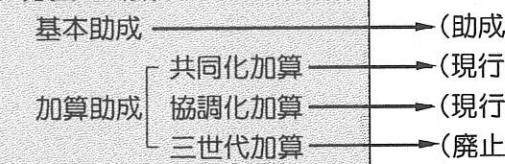
まちづくりニュースは  
皆さんにお知らせしつづけて  
50号をおがえました!!

## 変わる不燃化助成……来年度から助成の内容を変更

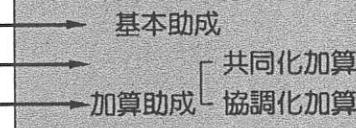
不燃化促進事業の助成金が来年度から変更されます。現在、不燃化助成は下表の左のようになりますが、平成12年4月より右のように変更されます。助成金額もこれまでより少し減額となります。

豊島区では東京都の補助を受けながら不燃化促進事業を行っており、助成金額は他の区に比べて手厚いものとなっています。しかし、区の財政難からこれまでどおりの助成を行うことが困難となりました。一時は、都の補助が受けられなくなることも想定され、不燃化助成自体が継続することが危ぶまれましたが、引き続き事業は継続することになりました。ただし、これまでの助成を見直せざるを得なくなりました。

### ●現在の助成



### ●改正後の助成



### ●助成金額の変更の例 (一般建築助成の場合)

対象床面積 132 m <sup>2</sup> (40坪) の場合	現在の助成金額 447.5万円
	改正後の助成金額 240万円
	減額される金額 207.5万円
対象床面積 165 m <sup>2</sup> (50坪) の場合	現在の助成金額 479.3万円
	改正後の助成金額 259.3万円
	減額される金額 220万円

※その他、各建築助成についても同様に減額となります

## 建替えを計画中の方はお早めに

上の表にあるように今回の変更によって助成金額は減額されます。面積によって異なりますが71万円(対象床面積50m<sup>2</sup>の場合)から220万円(対象床面積140m<sup>2</sup>以上)の減少となります。

この変更は、平成12年4月1日から施行されます。来年の3月31日までに助成対象の確認を受ければ、現行の助成を受けることができます。今、建替えをお考えの方はお早めに計画を進めてください。

●お問い合わせは まちづくり推進課 防災地区整備係 那須・鈴木まで  
電話 3981-1111(内)2862

# 雑司が谷

## 緑のこみち

### 明るくなった墓地廻り

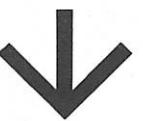
雑司が谷墓地の万年堀が撤去され、生垣やフェンスになって1ヶ月がすぎました。これまでの閉鎖的で暗いイメージの万年堀が、明るい境界になったことで、ご近所の方からとても喜んでいただいているとうれしい報告が相次いでいます。

改めて工事前と後の写真をくらべてみると、これまで万年堀で中の様子がまったく見えず、したがって道路も狭く感じられていたのが、万年堀の撤去によって、墓地の中の樹木が目に入り、広々と感じるようになりました。

今はまだ小さい生垣やフェンスのツタも、これから少しずつ伸びて、ますます緑ゆたかな景観をつくってくれることでしょう。



整備前



整備後



### 完成記念イベント

3月27日には、墓地の生垣の完成記念イベントが開催されました。300名もの住民の皆さんのご参加のもと、生垣を前にテープカットが行われました。

また、生垣と雑司が谷地区を守り育てるための会が結成され、出発式が行われました。名称も「緑のこみちの会」と決められました。会員は現在38名。会には、まちづくり協議会、地元の関係町会、第4地区青少年育成委員会などの団体の皆さんその他、うれしいことにボランティアとして参加される方が大勢名乗りでていただきました。



## 11年度工事はインナーリンクの実現へ

### 引き続き第二期工事

墓地の改修工事はすぐに第2期工事の検討に入ります。第2期工事は墓地の北側約500mの範囲です。この部分は第1期工事の部分より墓地内に余裕があるところが多く、舗道をつくるなど様々な整備が可能なところで、協議会がめざすインナーリンクを実現できる場所です。

今年度は、5月中に協議会で地元の皆さんの意見を伺いながら要望をとりまとめ、それを東京都に提出します。それを受けた都では6月中にたたき台となる計画案をつくり、地元に提示します。たたき台をもとに協議会では再度検討を行い、地元の皆さんのご意見を伺いながら都と協議を行います。夏から秋にかけて内容を決定し、11月までには設計を完了させます。工事は12月ごろ着手し、来年の3月までに完成する予定です。



雑司が谷墓地

第1期工事  
完成部分

第2期工事  
今年度工事部分

### 地元の方々の意見を踏まえて

協議会では直ちに、第2期工事の整備について検討を行い、東京都へ要望を提出します。今回は、最初から地元の方々を交えた協議を行いたいと考えています。協議会の場に地元の方々にもご参加いただき、ひろく住民の声を結集して、要望案を作成したいと思います。下記の日程で拡大協議会を開催します。どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

●雑司が谷地区まちづくり協議会 拡大協議会  
日時：平成11年5月18日（火）午後7時～9時  
場所：雑司が谷区民集会室

### 緑のこみちの会 活動開始

緑のこみちの会では、これから2ヶ月に1回のペースで、生垣廻りの定期清掃を行います。この会では、墓地の生垣の清掃を通して地域の住民が交流を深め、地域のまちづくりについて語る場にしたいと考えています。当面の予定は次のとおりです。季節毎に、お楽しみ会も盛り込みながら、楽しく集える会にしたいと思います。どなたでも参加できます。お説明あわせの上、おいでください。

●緑のこみちの会  
日時：平成11年5月22日（土）午前10時  
場所：かきのみ広場（雑司が谷児童館横）集合

※その後は7月、9月、11月、12月、2月に行う予定です。問い合わせ先：豊島区街づくり公社 北島・上野まで  
電話 03-3981-1111（内）2883